



# 光輝く轟の芽

V: Vision & M: Method & W: Work Hard

千葉市立轟町中学校  
学校だより第3号  
令和8年5月28日

## 生徒総会と体育祭で『紡』いだ、自立への一歩

教務主任 西島 和美

新年度が始まり、早いもので2か月が終わろうとしています。生徒たちは新たな仲間や環境の中で、自分の役割を見つけながら学校生活を送っています。そんな中、5月には生徒が主体となる「生徒総会」、そして仲間と力を合わせる「体育祭」が行われました。

### <生徒総会>

5月8日（金）5・6校時、全校生徒が一堂に会して生徒総会が行われました。生徒会総務や各専門委員会から活動方針が提案され、学校生活をよりよくするための意見交換が行われました。

今年度のスローガン「紡～三つの学年、一つの糸へ～」には、「令和7年度の反省を生かし、三つの学年を一つの糸のようにしっかりと紡いでいきたい」という生徒会総務の強い決意が込められています。具体的には、各委員会との連携をこれまで以上に強化し、挨拶運動などを通して学年同士の仲を深め、生徒同士が互いに関わる機会を意欲的に増やしていくという計画も提案されました。ただ決められたルールに従うのではなく、学校をよりよくするにはどうすべきかを一人一人が真剣に考える姿が見られました。これからどのような轟町中学校を創り上げてくれるのか、これからの活躍がとても楽しみになる総会でした。

### <体育祭>

5月15日（金）、さわやかな青空の下で体育祭が行われました。今年度は、新たに「応援サポーター」が発足。学年の垣根を越えた力強い声援がグラウンドに響き渡り、例年以上の熱気に包まれました。各学年の趣向を凝らした種目（1年生：玉入れ、2年生：綱引き、3年生：学級対抗リレー）も、見どころ満載でした。さらに、長縄（8の字連続跳び）に挑戦。プレッシャーがかかるなか、練習を重ねるたびに連続で跳べる回数が増え、本番ではどのクラスも息の合った見事な跳躍を披露しました。

閉会式では、実行委員長の村さんから「かっこいい体育祭になりました。成功させられたことをうれしく思います。振り返りをしっかりやって、次の行事につなげましょう。」という話がありました。この体育祭で得た素晴らしい団結力とエネルギーを、9月の合唱コンクールへとつなげて行ってほしいと思います。各クラス、どんな美しいハーモニーを届けてくれるのか楽しみです。

最後になりますが、平日の開催にもかかわらず、会場に足を運び、温かいご声援をいただきました保護者の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。